

作物名（大豆）

県 名	生育ステージ		生 育 の 状 況	問 題 点	これまでに講じた対策 及び今後の方針	備 考
	本 年	平年対比				
茨 城 県 （水戸市）	タチナガハ 本葉 第 10 葉 展開期	平年並み	7 月第 1～6 半旬（30 日まで）の平均気温は平年より 2.1℃低く、日照時間は平年比 101%、降水量は平年比 122%であった。月前半は高温少雨、月後半は低温多雨で推移した（水戸地方気象台観測値。平年値は直近 5 ヶ年の平均値）。	納 豆 小 粒 で べ と 病 の 発 生 が 例 年 よ り 多 く 見 ら れ る 。	・ 本葉第 5 葉展開時（7 月 19 日）に中耕培土（培土は子葉節まで）を実施した。 ・ 7 月 16 日に殺虫剤散布。 ・ 今後、紫斑病、英害虫の防除を実施する。	
	納豆小粒 本葉 第 10 葉 展開期	平年並み	生育ステージは、タチナガハ、納豆小粒とも本葉第 10 葉展開期であり平年並みである。 生育は、タチナガハでは主茎長が平年より長く、茎の太さはやや太い。主茎節数は平年並みで、分枝数が平年より少ない。納豆小粒では、主茎長、分枝数、茎の太さが平年を上回る。主茎節数は平年並み。地上部生体重は、両品種とも平年より重い。			

表 生育調査(播種後43日、7月31日調査)

品種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ			地上部生体重		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	7月31日	△3 (8月3日)	△1 (8月1日)	40.7	145 (28.0)	112 (36.4)	11.3	115 (9.8)	102 (11.1)	1.0	3800 (0.03)	81 (1.2)	6.6	112 (6.0)	105 (6.3)	58.3	210 (27.8)	131 (44.6)
納豆小粒	—	— (8月11日)	— (8月10日)	41.4	154 (27.0)	125 (33.1)	11.4	114 (10.0)	104 (10.9)	1.8	120 (1.5)	120 (1.5)	6.2	120 (5.2)	115 (5.4)	52.8	240 (22.0)	164 (32.2)

○内は前年または平年の数値。平年値は平成20年～24年(5ヵ年分)のデータの平均値。
前年差、平年差の△は平年より早いことを示す。
茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間で測定。
播種日:6月18日、栽植密度:11.1株/㎡(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0

農研所内圃場における生育状況（7月31日撮影）



タチナガハ



納豆小粒